

日本みどりの連合事務所

〒113 東京都文京区本郷2-15-14

エコロジー社内

電話 03-816-6573

(「日本みどりの連合」の専用電話ができました)

日本みどりの連合月刊機関紙

毎月10日発行 100円

郵送定期購読料 年間2000円

申込みは 振替東京5-140109

「日本みどりの連合」あてに

みどりの新聞

アシュレ夫人を囲んで

動物の権利を守る



五年前までは、私も肉をたくさん食べていました。けれど

ベジタリアンになる

「英国では、動物解放運動とエコロジー運動は、たいへん密接に結びついています。動物にも「生きる権利」があるという主張は、英国では六、七年前から高まってきました。私自身は六年前、この運動をやっています。

動物の生きる権利

さる四月二十五日、イギリスで動物の解放運動に献身的に働いておられるアシュレ夫人が、エコロジー社において下しました。以下、そのお話しを要約してお伝えします。

エコロジー運動

「私たちが動物実験に反対するといことは、当然、人間の健康を守るにはどうするのかわからないところ、つながってきます。

そこで、医学に頼らない、よりよい健康的な生活スタイルをどう、というエコロジー

の方法と結びついています。英国ではエコロジー・パーティ(みどりの党)の綱領の中に、動物の権利を守るという一条があります。」

具体的な行動

「私たちは具体的に、次のようなアクション(行動)を起しています。

- ◎スポーツ・ハンティング、特に、血みれのスポート、キツネ狩りをやめさせる。
- ◎毛皮屋の前でずわりこみをする(毛皮商売の廃止を呼びかける)。
- ◎クリスマスに七面鳥を食べないように呼びかける(その日に二〇〇万匹が殺される)、動物を虐殺しないクリスマス キャンペーン
- ◎動物を苦しめない化粧品キャンペーン(化粧品には動物性物質や時には人間の胎盤なども用いられる)
- ◎家畜工場の虐待に反対する

あらゆる生命の尊厳を！

いのちを虐使・虐殺するな！
動物実験・動物産業を廃止しよう！



私たちはここに、あらゆる形の生物実験・生体解剖(その最たるものが動物・人体実験)に反対し、生きものの尊厳をとりもたせようことを、表明致します。そして、そこから生じる医学上の、また社会的な問題については、もうと別の新しい方法で解決することを目指します。

さらに、生きとし生けるものを重なる実験材料、あるいは工場製品、あるいは消費商品、あるいは開発資源、あるいは食料品とみなし、感謝の念のカタチもなく人間の工場のなすがままに取扱う社会の風潮に対し、すべての生物はかけがえのない宇宙の生命の分身であることを訴え、生命尊重、万類共尊の社会へ根本的に転換すべきことを、広く呼びかけるものです。

受精卵でも証明されることなのです。

医学研究者たちは、口々にこれらはみな人間の健康を保ち、病気を治療するために必要なことだと言います。けれども、果して、私たち人類はそれほど多くの他の生物の犠牲なくしては、自分たちの健康を守るができないのでしょうか！

生物・化学兵器への道

動物実験は人体実験と切りはなすことはできません。研究者たちは、カエル(両生類)よりはマウス(哺乳類)を、マウスよりはひげやキやヤギ、ヤギよりサルを、そしてサルよりは人間を実験したいという欲望をもっています。かつてナチスが強制収容所にこらえられた人々や、心身障害の人々に加えたさまざまな生体実験、旧日本軍731部隊の細菌戦略などの実例が示しているように、近代医学は軍事

目的と一体になって発達してきたものです。最近も西ドイツでは国内の軍用医学研究所で、秘かに「中絶胎児の生体実験」が行われています。

核兵器にも匹敵する生物・化学兵器の開発は、このような生体実験と一体になっています。

病気をくり出す実験
「いかにして病気を治すか」



残酷な実験装置・明日は